



PLATINUM

プラチナ・ジュエリー・ビジネス・レビュー 2022 Q3 報告書 要旨

〈2022年7～9月期〉

日本.....

日本の GDP 成長率は、Q3 を通して新型コロナウイルス感染の最大の波が続いたことに影響を受け、Q2 から年率換算で 0.8%縮小した。プラチナ・ジュエリーの需要は好調を維持し、Q3 には販売個数がホワイトゴールドを上回る前年比 4.7%増となった。

中国.....

中国では Q3 の GDP 成長率が 3.9%と復調ながら、長引く新型コロナウイルスと規制措置の圧力が影響している。プラチナ・ジュエリー製造業では小売業者が商品補充を進めたことから、7・8月の前年同期比の減少幅は狭まった。しかし感染拡大の影響で前年同期比で 20%減となった。

アメリカ.....

アメリカでは過去最高のインフレ率、サプライチェーンの制約、景気後退の可能性など、経済の雲行きが怪しい中、宝飾販売は引き続き予想を上回った。プラチナ・ジュエリーの販売は高いベースに対して消費量が小幅に減少したが、2019年の水準を上回り、2022年を好調に終える見込みである。

インド.....

インドでは、景気後退の恐れやインフレ圧力の上昇、通貨安、積極的な金融引き締めなど世界的な金融情勢が不安定な中、Q3 の経済成長率は前年同期比で 6.3%と鈍化。プラチナ・ジュエリー販売では、2022年 Q3 のプラチナ・ジュエリーのオンス販売量は需要の枯渇により高成長を遂げた前年同期比で 35%増加した。

「プラチナ・ジュエリー・ビジネス・レビュー (PJBR)」は、PGI が活動拠点を置く主要 4 か国 (日本、中国、アメリカ、インド) を対象に、独立調査機関による宝飾用プラチナ需要、小売販売、業界トレンドの調査結果を、PGI が年次報告書として編纂しているものです。

当報告書の詳細な内容やデータ等は、下記 PGI 本部サイトからダウンロードいただけます。

(要登録/英語) <http://platinumguild.com/>